

I キャリアカウンセラーとしての活躍

1. キャリアカウンセリングとは何か

1 はじめに

	P	問題	回答	チェック
1	3	キャリアカウンセリングの定義とは	キャリアカウンセリングとは、発達の視点に立って、成長と適応という個人の積極的側面に強調点を置き、個人が環境の中で効果的かつ自律的に機能できるように支援すること。自己概念の開発を通してキャリア形成を図ること	
2	3	キャリアカウンセリングは「1.」を重視し、「2.」を促す働きかけであると考え	1. 人間が社会的な存在であること 2. 自己概念の成長	
3	4	キャリアカウンセリングとは	外部の知識や経験を自分自身に問いかけるということ。観念にせず、じっくりと考えて、その知識や経験を自分の「言葉にする行為」	

2 キャリア教育における議論から 3 経験から学ぶ

	P	問題	回答	チェック
4	7	「経験から学ぶ」とはどういうことか	【お知らせ】 支援すべき他者、つまり「その人」が現在遭遇している課題を解決していくための出発点であり、「その人」が主体的に社会を構想し、改革していく意図と能力を身につけていく上での必要不可欠な基礎能力	
5	7	「経験から学ぶ」の「学び」の構造を考えると	「人」経験とその「つながり」	
6	7	経験とは何と言え		
7	8	自己概念の成長を生み出す「学びの構造」		

国家資格
キャリアコンサルタント試験
対策問題集 販売開始となりました

4 経験代謝

	P	問題	回答	チェック
8	9	◆詳細はホームページにてご確認ください。 国家資格キャリアコンサルタント試験対策問題集 http://www.7b.biglobe.ne.jp/~cda/career/career_index.html		
9	9	◆国家資格キャリアコンサルタント試験練習問題ブログもご確認ください。 http://blog.livedoor.jp/cda_careerconsultant-shiken/		
10	9	経験代謝とは	自己概念の成長を生み出す「学びの構造」	
11	9	経験代謝のサイクルの2つの段階とは	1. 経験の再現 2. 意味の出現	
12	10	経験代謝のサイクルの「1. 経験の再現」「2. 意味の出現とは」	1. クライアントにとつて、ある経験がどう見た、どう感じ、どう思ったのかなどをクライアントとともに再現し、その再現された経験をともに見る 2. 「自分にとっての意味」に気づくこと	

(1) 経験

	P	問題	回答	チェック
13	12	経験でのキャリアカウンセラーの役割とは	クライアントが生活知を啓発的経験として取り込み、自己概念の成長を促せるよう橋渡しをする	

(2) 意味の受け止め方

14	12	不都合な経験であっても自己概念成長のきっかけとして何を持つことができるか	つながり						
15	12	意味の受け止め方でキャリアカウンセラーの役割とは	人間性の活性化を促す (人間性とは人間が持つ成長に向けたエネルギー)						

(3) 当事者意識

	P	問題	回答	チェック					
16	14	当事者意識とは	経験代謝のサイクルを自立的に回していこうとする意識。不都合なことや、何とかしなければいけない出来事が起こったとき、「自分で変えられる、何とかしよう」と思う意識						
17	14	当事者意識でキャリアカウンセラーのかかわりとは	クライアントに当事者意識を醸成する						

(4) 問いかけ

	P	問題	回答	チェック					
18	4	日常の出来事を啓発的経験とする経験の受け止め方、そのポイントとは	【見本】						
19	4	経験に対し問いかけることによって「1.」に気づくことが「2.」の第一歩となる ☞ テキスト1 P18理解度チェック1	1. つながり 2. 自己概念成長のきっかけ 国家資格						
20	5	キャリアカウンセラーの場面でクライアントから持ち出されることがほとんど。このような状況である	キャリアコンサルタント試験 対策問題集(一問一答)						

(5) 不安

	P	問題	回答	チェック					
21	5	◆練習問題見本:テキスト1 P3~P18							

(6) 信頼 ◆「問題」と「回答」の文字について:フォントMS P明朝 サイズ11.5

	P	問題	回答	チェック					
22	6	◆印刷用紙:B5サイズ ◆仕上げ:26穴ルーズリーフ用紙に印刷しファイリングして発送							
23	16	的関心を向けることは信頼関係構築の第一歩。クライアントに何を促す働きかけとなるか	当事者意識						

(7) キャリアカウンセリングが対象とするテーマについて

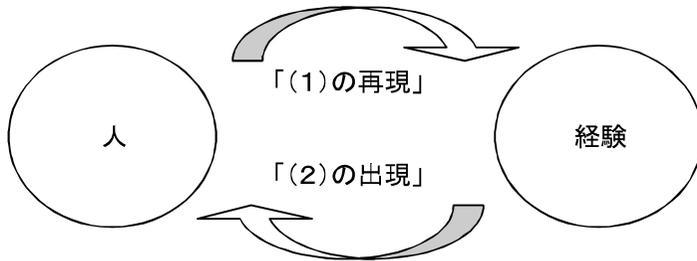
	P	問題	回答	チェック					
24	16	CDAはカウンセラーでなく「1.」である。そのためキャリアカウンセリングの対象者は「2.」であり、テーマは必ずしも「3.」を前提としない	1. キャリアカウンセラー 2. すべての人 3. 悩み						

(8) CDAとクライアントとの関係性

	P	問題	回答	チェック					
25	17	キャリアカウンセラーのとるべきクライアントとの関係性で「関係を越える」とはどのようなことか(2つ)	1. 傍らでキャリアカウンセラーの役割を意識しながらも、人間対人間としての自然なかかわりを持つということ 2. 意図的でありながら自然、自然でありながら意図的、一見矛盾する関係性を持つこと						
26	17・18	厚生労働省で定義された「キャリア」とは「1.」。また、同省職業安定分科会では「2.」と言われている ☞ テキスト1 P18理解度チェック2	1. 一般に「経歴」「経験」「発展」、さらには「関連した職務の連鎖」等と表現され、時間的持続性ないしは継続性を持った概念。「キャリア」を積んだ結果として、「職業能力」が蓄積されていく 2. 個人の適性や経験に即した職業選択や能力開発を支援する相談						

問1

経験代謝サイクル(テキスト1 P9 図表1-1)



回答 (1) 経験
(2) 意味

1		6		OK
2		7		
3		8		
4		9		
5		10		

【見本】

問2

直接雇用(テキスト1 P89 図表3-14)

国家資格

キャリアコンサルタント試験

対策問題集(図形)

(1)

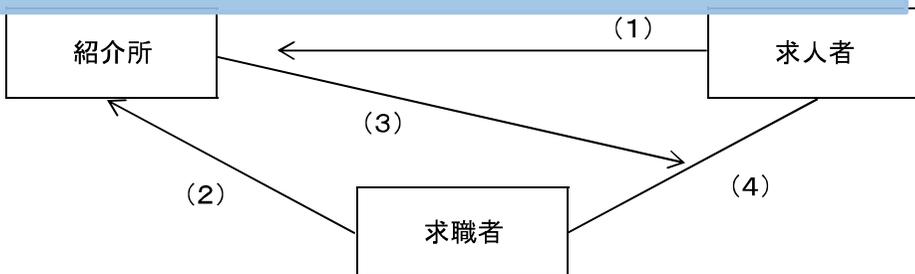
(2)

- ◆ 図形問題見本: テキスト1 P9~P92
- ◆ 文字フォント: MS Pゴシック
- ◆ 印刷用紙: B5サイズ
- ◆ 仕上げ: 26穴ルーズリーフ用紙に印刷しファイリングして発送

1		6		OK
2		7		
3		8		
4		9		
5		10		

問3

職業紹介(テキスト1 P89 図表3-15)

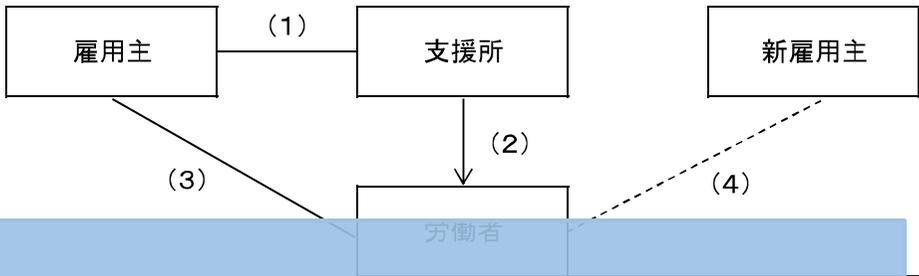


回答 (1) 申込み
(2) 申込み
(3) 斡旋媒介
(4) 雇用契約の成立

1		6		OK
2		7		
3		8		
4		9		
5		10		

問4

アウトプACEMENT(テキスト1 P91 図表3-16)



回答 (1) 支援契約
(2) 教育訓練
(3) 雇用契約
(4) 雇用契約

【見本】

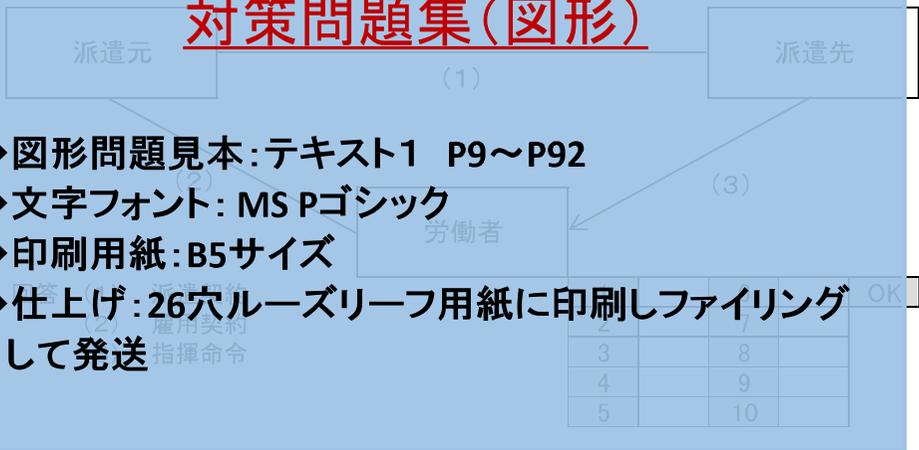
国家資格

1		6		OK
2		7		
3		8		
4		9		
5		10		

問5

キャリアコンサルタント試験

対策問題集(図形)

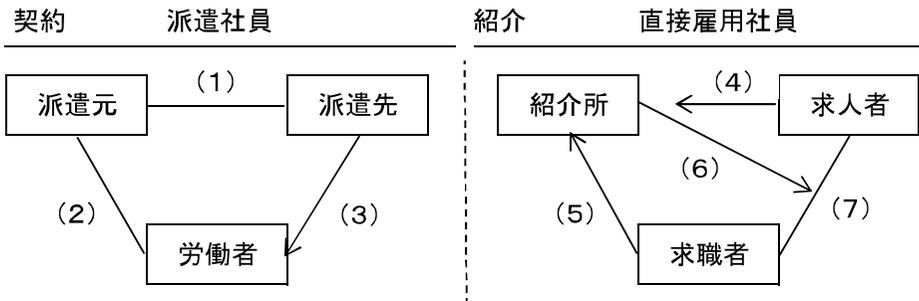


- ◆ 図形問題見本: テキスト1 P9~P92
- ◆ 文字フォント: MS Pゴシック
- ◆ 印刷用紙: B5サイズ
- ◆ 仕上げ: 26穴ルーズリーフ用紙に印刷しファイリングして発送

1		7		OK
2		8		
3		9		
4		10		
5				

問6

紹介予定派遣(テキスト1 P92 図表3-18)



回答 (1) 派遣契約 (4) 申込
(2) 雇用契約 (5) 申込
(3) 指揮命令 (6) 斡旋媒介
(7) 雇用契約

1		6		OK
2		7		
3		8		
4		9		
5		10		